

和歌山交通公園展示電車（モ217） お別れ記念パンフレット



昭和55年 交通公園内搬入時

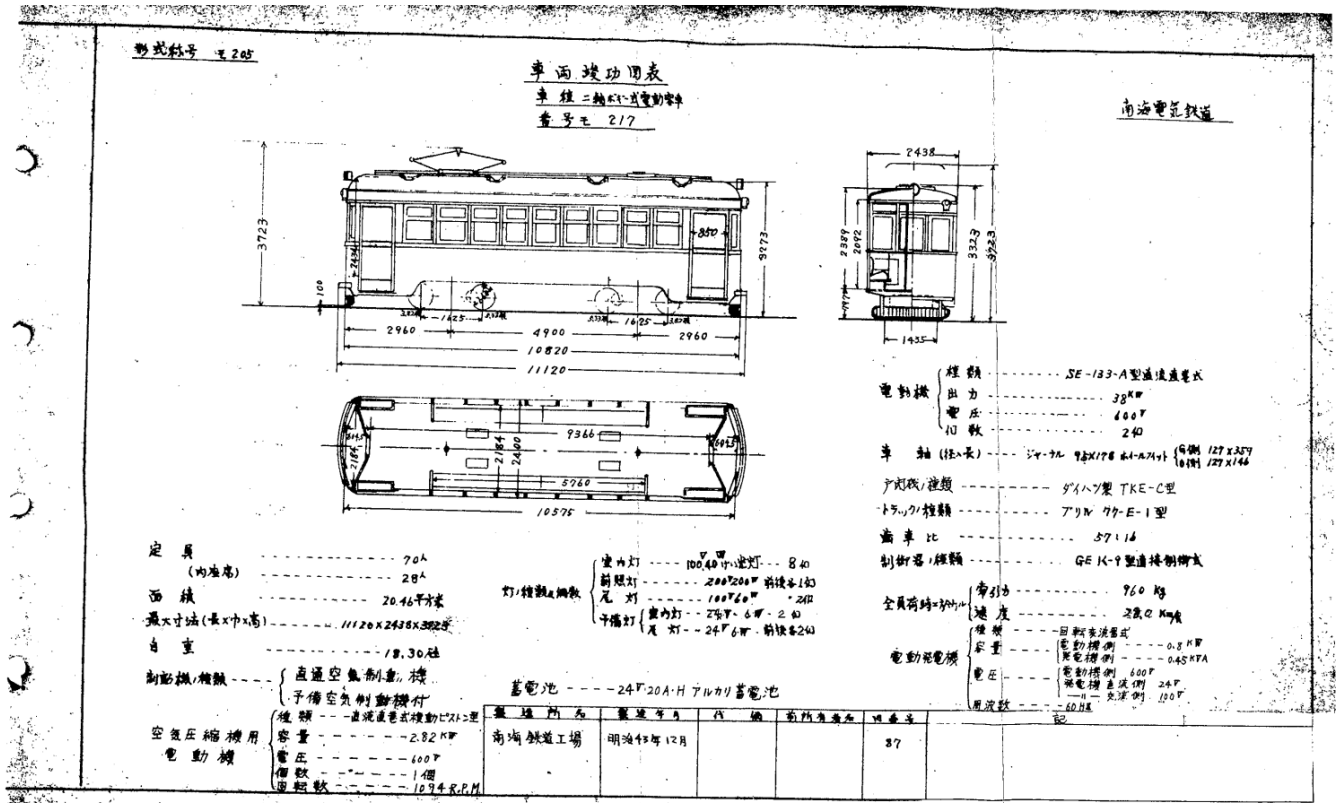


令和5年 撤去前

和歌山県県民生活課

この電車（モ217）は昭和12年製造され、南海電鉄平野線（天王寺—平野間）において、昭和55年11月まで約40年間の大阪市民の交通手段として活躍してきましたが、大阪市営地下鉄平野線完成にともない、廃線となり、日本宝くじ協会様の寄贈により昭和55年に交通公園施設として設置され、交通公園のシンボルとなっていました。この度、老朽化に伴い、撤去することになりました。

本パンフレットは県民の皆様に愛された電車（モ217）を写真一覧形式として残しておくものです。



<モ217の車内>



令和5年



昭和55年



<車窓から外を見る子供たち>



<車内の運転席で遊ぶ子供たち>



<車内で遊ぶ親子>



<車内の景色>



<車内の景色>



<交通公園のシンボルのような存在でした>



<雪化粧した電車もまた風情がありました>



<当時は乗車もできました>



<当時はオレンジと緑のカラーリングが特徴で、
コントラストが鮮やかでした>

<モ217の外観>



<撤去直前車内部品等>

